



## 水産情報速報版

H.17. 7. 1 1149

静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 2005年度第3回石油部会開催される

JF全漁連では去る6月29日2005年度第3回石油部会を開催し、最近の石油情勢並びに石油製品の供給価格改定(値上げ)を報告・協議しました。

最近の石油情勢:原油市況はWTIにおいて、5月中旬には48ドル/バレル前後に下落しましたが、その後、中間留分に対する供給不安や6月15日のOPEC総会で生産枠拡大を決定したものの、既に加盟国が超過生産を行っており、増産余力に限られるとの見方から、6月下旬には60ドル/バレル前後まで急騰し史上最高値を更新しています。

石油製品市況:シンガポール・ガスオイル市況において、5月中旬には56ドル/バレル台まで下落しましたが、その後の原油価格の上昇に連動し、6月下旬には70ドル/バレル前後まで急騰しています。

国内石油情勢:灯油が需要期を終えたことや、国内製油所の定修がピークを過ぎたことから、中間留分の在庫は回復傾向にあるものの、原油・製品価格の高騰に伴い元売各社はコストアップ分を転嫁すべく、計画出荷を徹底しており今後の需給及び元売各社の動向について、十分に注視する必要があります。

このような状況の中、海外の石油製品市況の高騰に伴う輸入製品のコストアップ並びに取引元売からの強い値上げ要請を受け、JF全漁連としては、コストアップ分を吸収することは困難な状況にあるため、今石油部会に諮り値上げ止むを得ずと了承され、7月6日出荷分より値上げが行われます。

### 2. 「海と魚と食を考える会」が7月18日設立

豊かな海の恵みを未来につなげていくため、JF全漁連を中心メンバーとする「海と魚と食を考える会」実行委員会は7月18日の海の日にあわせて「海と魚と食を考える会」を設立します。

会では、改めて「海と魚と食」について国民それぞれの立場からともに考える場として設立し、水産業・漁村が活力をもって存続していくことを通じ、豊かな国民生活の実現に貢献していくことの必要性について、理解を深めることを目的としています。

会の代表には学校法人服部学園理事長服部幸應氏が、顧問には東京大学名誉教授養老孟司氏、経団連海洋開発推進委員長武井俊文氏、プロスキーマーの三浦雄一郎氏が務め、役員には、学識経験者や水産業界に限らず、さまざまな分野から代表者が就任を予定しています。

設立総会は18日虎ノ門パストラル(東京・港区)で開催し、乾政秀水士舎代表取締役による「水産業・漁村の持つ多面的機能について」をテーマにしたプレゼンテーションや「さかなと食育」をテーマにした服部理事長の講演が行なわれるほか、おさかな試食会が開催されます。

今後の主な活動としては、「国民参加イベント」「学習会」「現地視察」などが予定され

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ており、他団体が行うイベントなどと趣旨が合致する場合には共同(共催)して実施することを働きかけていきます。国民参加イベントは年に1~2回程度の一般参加者を募ったシンポジウムなどを開催し、著名人による講演や有識者らによる討論会、水産業界からの情報発信のためのプレゼンテーションなどを実施します。また、学習会は四半期に1回程度、会員を対象とした勉強会を開催し、新たな水産政策の説明など知識向上と相互理解を図ります。

### 3. WCPFCへの加盟が国会で承認

今国会に提案されていたWCPFC(中西部太平洋マグロ類条約)への加盟が15日の参議院本会議で全会一致で承認されました。

条約は、国会承認のあとは政府内の手続きとして加盟書の寄託を閣僚決定し、加盟書が寄託されてから30日後に日本に対し条約が発効します。

WCPFCは、昨年6月に発効し、条約にわが国200海里水域が含まれるため、曳縄、定置等の沿岸漁業に国内事情を無視した一方的な規制がかけられる可能性が残るとして条約の改善を求めていました。規約上クロマグロ、メカジキ、ピンチョウの規制措置は日本を含む北委員会でコンセンサス方式により勧告が決定されるが、3魚種以外については、委員会で4分の3の多数決方式等により決定されるため、今後も注視する必要があります。

### 4. 「夏休み親子おさかな体験教室」参加親子募集中

県おさかな普及協議会では、県民に漁業の生産現場を知ってもらい、そこに水揚される水産物の新鮮さ、美味しさを実感してもらおうとともに、その水産物の消費を促進することを目的に、来る7月29日(金)に小川漁港魚市場を中心に昨年に引き続き「夏休み親子おさかな体験教室」を開催します。

この教室では、焼津市小川地先の定置網の見学、新焼津漁港の深層水施設の見学や魚の下ろし方教室・試食などが行われ、子供たちにとって食育のよい体験となります。是非この機会に参加ください。

開催日時:平成17年7月29日(金) 朝5:10~10:30 開催場所:小川漁港他 対象者・定員:小学生とその保護者(親子)13組程度 受付期間:6月25日~7月8日 申込・問合せ先:往復はがきで申し込む 県おさかな普及協議会(県漁連内) 〒420-8666 静岡市葵区追手町9-18 TEL:054-254-6011 FAX:054-253-9343

### 5. 平成17年度水生生物による水質調査の実施について

協同組合間提携推進協議会(県漁連、JA中央会、経済連、県森連等)では、県水産試験場の協力を得て、夏休みの期間を利用し協議会の会員並びに所属単協の小学生(4年~6年)を対象に、身近な河川に生息する水生生物調査を行うことにより水質保全、環境保全の意識を高めるための活動を次のとおり実施することにいたしましたので、参加希望がありましたらご連絡ください。

実施日:平成17年7月30日(土) 実施場所:瀬戸川上流部の藤枝市瀬戸ノ谷(びく石) 締切日:7月20日(水) 詳細は県漁連漁政課(TEL:054-254-6011)までご連絡下さい。

### 6. 諸会議日程(7月5日(火)~7月18日(月))

- 既報分省略 -

7月15日(金) 中部太平洋旋網漁業協会 = 役員会・通常総会 (伊豆長岡)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう